

# おれんじニュース

No.4 1 6

2025年1月



くじゅう 黒岩山

## CONTENTS

揮毫	2
年頭挨拶	3
月例山行案内	4
お知らせ	5
定期トレーニング	6
鹿嵐山	7
福島オルレ	8
田原山	9
おれんじカレンダー	10

2025年	1月	2月	時間	場所
専門部会	25(土)	22(土)	13:30~14:30	西諫早公民館
全体集会			14:30~16:00	

吉祥

謹んで新春の

お慶びを申し上げます

令和七年 元旦



## 新年明けましておめでとうございませす。

昨年も皆様のご支援とご協力により、無事に活動が続ける事ができ、心より感謝申し上げます。厳しい天候や困難な登山道に挑戦した事や、幅広い年代層にも受け入れられる柔軟な企画は、会員の絆を一層深める貴重な経験となりました。

新しい年を迎えるにあたり、私たちのクラブは更なる高みを目指し、挑戦を続けたいと思います。今年も多くの登山やハイキングを計画する事になります。安全第一を心掛け、自然環境を大切に、互いに助け合いながら活動をしていきたいと思ひます。

また、初心者からベテランの方まで、どなたでも参加しやすいイベントを取り入れ、より多くの会員が楽しみながら登山に親しむ機会を提供できるように努めてまいります。

今年も安全で楽しい登山ができますよう、皆様の健康と安全を心よりお祈り申し上げます。

会長 鎗水 律夫



# 1月



# 月例山行案内

部	自然・山行部	技研部	ひまわり部
月/日(曜)	1/5(日)	1/26(日)	1/31(金)
山名(行事)	多良岳七座縦走	阿蘇根子岳(東峰)	郡 岳
地 図	多良岳	阿蘇・高岳・根子岳	東彼杵：古枝
集合場所	緑地公園 8:00	西諫早駅 6:30	緑地公園 9:00
難 易 度	体力 2/技術 2	体力 2/技術 2	体力 1/技術 1
帰着時間	16:00	19:00	15:00
歩行時間	5.0h	4.0~5.0h	4.0h
交通手段	マイカー	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	なし	なし	なし
温 泉	なし	有(時間的に余裕ある時)	なし
参加費	1,000	5,000	800
申込期限	12/28	1/19	1/26
集 約	今 坂	堺	田 中
備 考	新春に地元多良山系の七座を縦走(西、国見、多良、前、黒木、一の宮、帆柱岳)。軽アゼン持参	荒々しく迫る根子岳の岩峰の傍らを登る。軽アゼン持参	山頂迄は雑木林の緩やかで登りやすい。山頂は平坦で大村湾、大野原が見える。

# 2月

部	自然・山行部	技研部	ひまわり部
月/日(曜)	2/16(日)	2/23(日)~2/24(月)	2/28(金)
山名(行事)	オルレ奥豊後	恐羅漢山・深入山	帆場岳
地 図	朝地竹田	恐羅漢山(広島県)	長崎東北部
集合場所	西諫早駅 6:00	西諫早駅 6:30	緑地公園 9:00
難 易 度	体力 1/技術 1	体力 2/技術 2	体力 1/技術 1
帰着時間	19:30	2/24(月) 20:00	15:30
歩行時間	5.0h	5.0~6.0h	4.0h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	なし	1泊(いこいの村広島)	なし
温 泉	なし	有り	なし
参加費	4,100	2.0~2.5万	800
申込期限	2/9	2/1	2/24
集 約	今 坂	堺	田 中
備 考	日本最大級の摩崖仏や城跡、城下町など歴史薫る名所めぐり。	雪山訓練とハイキング(雪山装備要)	長崎へ入港する船舶の目標とされていたので、この名がついた。山頂からは長崎市内の山々が展望される。



◇ 普賢岳登山者安全祈願祭に参加(工藤・白石)

雲仙の紅葉も終盤を迎えた 12 月 1 日(日)、雲仙を美しくする会主催の「普賢岳登山者の安全祈願祭」が仁田峠展望広場で開催された。10時から祈願祭が始まり、かがり火の点火を、雲仙を美しくする会会長、雲仙市長ほか温泉街の自治会代表の方々で行われ、続いて登山者の安全を祈願して黙とうを行った。そして神事に入り、宮司より祝詞があげられ、玉串奉奠を雲仙を美しくする会会長に続き来賓の方々が順次供えられた。

雲仙は来年で国立公園国内第 1 号指定から 90 周年を迎える。登山客や観光客の安全と安心を願う祈願とともに、美しい雲仙の環境保全のために午後にはクリーン作戦を総勢 40 名ほどで仁田峠を中心に、妙見神社までの歩道、登山道と神社周辺のゴミ拾いを行った。

登山道脇下の斜面には、想像以上に空き缶、ビンが捨てられていた。雲仙に限らず、全国各地への登山の際は美しい自然を守るため、他の登山者の模範となる行動を心掛けて今後もボランティア活動を継続したい。



◇ 納山会

12 月 7 日(土)多良見虚空蔵山公園にて納山会を開催。山行参加者 14 名(健脚班 7 名、ゆっくり班 7 名)、昼の鍋会には総勢 26 名の参加。また当日はコンパニオンレスキューも行われ参加者 6 名。2、3 日前までは曇りのち雨の予想だったが、10 時過ぎからは徐々に晴天になり、会員は日光を浴びながら美味しい芋鍋に舌鼓を打ち 3 時間ほど談笑した。また、宿泊組は 10 名で、夕方テント設営後、ひとつのテント内で飲食と音楽鑑賞。21 時過ぎまで話もはずんで寒い夜にもかかわらず盛況で、良い思い出となった。



◇ 県連より

- ・雪山訓練  
来年の雪山訓練は中止する。(オレンジは独自で計画して他会からの参加も受け入れる)
- ・60 周年記念行事(2027 年 7 月頃に)祝賀会、記念講演、記念誌発行の検討中。
- ・黒木梅園の整備は廃止の方向で進める。
- ・県連総会の日程 4 月 13 日(日)の予定。

# 定期トレーニング

## コンパニオンレスキュー

実施日	12月7日	確保引上げベルソセット 同左確保引上げ	ロープ担架制作	テント設営
場所	虚空蔵山			
参加数	6名			



## 火曜登山

月日	11/19 多良岳	12/3 紅葉谷～仏の辻	12/10 雲仙
人数・時間	5名/3.0h	8名/3.5h	8名/3.5h
概要	金泉寺登山口～金泉寺～多良権現～前岳～鬼の門～金泉寺～金泉寺登山口。快晴で強風の中、多良岳尾根を注意して歩く。紅葉は7割り程度、前岳からの下りは無風でゆっくり紅葉を愛でた。	紅葉谷P～ヒメシャラ～仏の辻～水神様～哲学の道～紅葉谷P。登山道は登山開始から20分間ほどは荒れていた。芝生広場から見る水神様側の紅葉は綺麗だった哲学の道も変化があり面白いルート。	仁田峠P～アザミ谷～紅葉茶屋～普賢岳往復。仁田峠の気温は風もあり4度と寒く急ぎアザミ谷へ、ここからは風も弱く残雪の登山道を普賢岳に登る。頂上で展望を楽しんで昼食後下山した。
備考	紅葉と前岳からの下り 	芝生広場・哲学の道の紅葉 	登山道・普賢岳頂上 



## 水曜登山

月日	11/20 五家原岳	12/4 郡岳	12/11 烽火山
人数・時間	8名/5.5h	7名/4h	5名/4h
概要	紅葉谷P～ヒメシャラ～仏の辻～五家原岳～中岳～金泉寺～おたちね観音～水神様～林道～紅葉谷P。今日のコースは長距離だったが紅葉を充分楽しめた。また初ヒメシャラの会員も3名いた	野岳湖P～野岳湖周回～野岳湖P～郡岳南登山口P～郡岳往復。野岳湖周囲の紅葉が見頃で素晴らしかった。郡岳からの天望もよくて充実した1日だった。	片淵公園P～七面山～烽火山～建山～片淵公園P。妙光寺の紅葉は最盛期を迎えていて初めての会員も感嘆の声を上げていた。ここから烽火山登山道分岐までは急坂だった。
備考	紅葉谷の紅葉・ヒメシャラ 	野岳湖の紅葉 	妙光寺の紅葉・烽火山 

# 11/10 鹿嵐山

## 行程

6:32 西諫早駅ー 7:36 金立ー 8:47 玖珠 ICー 9:20 第一登山口～11:20 鹿嵐山(雌岳)～12:00 鹿嵐山(雄)～13:25 地藏峠～13:47 ねこ山(右耳)～14:58 第二登山口～19:00 西諫早駅



## 概要

2024 年は全国的に、紅葉が見られる時期がずれており、鹿嵐山もほんのわずかな黄葉のみだった。12 時過ぎから小雨～雨となった。CL の判断にて、班編成を変更。先発隊 10 名でねこ山右耳、後発隊 4 名はねこ山右耳、左耳まで到達。ロープ等使用なし。雨のため眺望はなかったが、全員無事下山。



## 一言感想

\*急登とアスレチックが大人の遊園地で、楽しめました。

\*雨でも楽しい山でした。晴れた日に今一度登りたい。

\*今日で 2 回目の参加、坂は少しバテましたが、楽しい山行が出来ました。これからも山行に参加します。

\*ゆっくり歩行だったので楽でした。雨が降り出し足元が滑りやすく、滑ってしまいました。天気が悪く残念でした、でも皆さん楽しそうで良かったです。

\*急登が厳しかったが、ねこ山まで行け楽しかった。



参加者 福田、工藤、陣川、吉岡、福岡、白石、堺、浦、乾、辻、山下ち、川野、本多、高田、吉崎、円能寺、舛田

# 九州オルレ 松浦・福島コース

2024,11.17 (日)

**行程:**本諫早駅7:30—西諫早駅8:00—諫早IC8:10—佐世保三川内IC8:50—福島大橋9:50—直売所9:55—10:10オルレ福島スタート(福島支所)10:10～大山展望所11:15～福寿寺12:20(昼食)13:00出発～旧養源小学校13:30～土谷棚田展望所(オルレゴール)15:15—直売所15:20—西諫早駅着17:20

**参加者:**今坂、工藤、福田、円能寺、大久保、吉崎、中須賀、中里、高森、白石、中野、大原、吉川、堺、高田

**登山概要:**マイクロバスは赤い橋を伊万里湾に浮かぶ旧炭鉱の島「福島」へ渡る。福島南端の福島支所から北へ縦断し、西側斜面に広がる土谷棚田展望所を目指す。スタート前に福島町内の海産物直売所に立ち寄り、名産の冷凍アジフライを買い、帰りまで保管してもらおう。福島支所をスタート。オルレの矢印に従って、山の中の坂道を登って行った。大山展望所に着き、島々の展望にほっとした。福寿寺で待っていたNさんと合流し、先の道路脇で弁当を食べ、旧養源小学校に到着。会員のNさんが通った小学校である。小学生だったNさんを思い浮かべた。賢い少年だっただろう。そして西海岸の鍋串漁港に着き、シラスを購入。潜水艦岩を見ながら海岸を歩き、山の中の道を登ると土谷棚田展望所に出た。美しい棚田と海の光景に感動。その駐車場で待っていたマイクロバスに乗り込み帰途に着いた。

土谷棚田展望所から



潜水艦岩



旧養源小学校



## 一言感想

- ・風光明媚なコースでした。よくもこんなコースを選定されたものだと思います。
- ・ひさしぶりのオルレ、中々行ける場所ではなくロマンを感じながら楽しく歩きました。
- ・島のオルレとのことで海岸線を潮風に吹かれながら歩くのかと思っていましたが、山また山で海岸線に出たのはほんの少し。でも山の間から見えるたくさんの島々はこのオルレだからこそでした。やはり自然は素晴らしい。
- ・オルレと考えていたが、予想以上に高低差があり、帰省時少し疲労感が残っていたが、道中の景色と会員との会話が弾み、楽しい山行となりました。



# 大分県杵築市の岩峰田原山(鋸山)へ

## 11名でアタック 全員完歩！

山行日：11月24日（日）

参加者：堺. 本多. 辻. 舛田. 白石. 浦山. 福岡. 今坂. 工藤. 福田. 川野

### 行程

6:05 本諫早駅～9:40 田原山登山口～9:40 登山開始～11:40 田原山山頂  
～13:10 熊野摩崖仏分岐～13:40 登山口駐車場～17:40 大分道・長崎道で西諫早



### 登山概要

天候の回復にも恵まれ、クサリ場、ロープ場の多い岩峰登山を実施した。登山口に到着後直ぐに準備運動をし、早々に登山開始。

開始して間もなく滑落死亡事故発生の看板！一瞬足が止まったものの、気を取り直し全員無傷の完歩を心に誓ったことは言うまでもない。前日少々雨が降ったのか、滑りやすい所もあり慎重に歩く。ほぼ直角に立ち上がった崖もクサリ、ロープを頼りに登ること2時間で鋸山の山頂に到着。東側に四国山地、西側にはくじゅう連山の眺望が開け、素晴らしい絶景に一同感動した。

後半の下りも、難しくはないものの脆い石もあり、一手一手を確かめながら慎重に下り、約2時間で10mの石仏の待つ、熊野摩崖仏前に到着した。ここからは参道の石段を下るが非常に石積みが荒れており、歩きにくかった。約10分でバスの待つ駐車場に予定より早く全員無事、一人の転倒者も出ず無傷の完歩を達成した。

### 一言感想

- ・痩せ尾根の連続で怖かったが絶景に満足でした。
- ・いつも参加させて頂きありがとうございます。スリル満点の岩場の連続で緊張しましたが楽しかったです。
- ・初めての田原山でしたが思った以上にスリルがあって面白い山でした。
- ・天気も良く岩場もスリル満点で最高でした。緊張しましたが楽しかった。
- ・いきなりの滑落死亡事故発生の看板にビックリ！四国山脈とくじゅう連山に感動。



# おれんじカレンダー

1月			2月		
1	水		1	土	コンパニオンレスキュー (技研部)
2	木		2	日	
3	金		3	月	
4	土		4	火	火曜登山 (自主)
5	日	多良山系7座縦走 (自然・山行部)	5	水	水曜登山 (自主)
6	月		6	木	緑の地平線歩き (自主)
7	火	火曜登山 (自主)	7	金	
8	水	水曜登山 (自主)	8	土	
9	木	緑の地平線歩き (自主)	9	日	
10	金		10	月	
11	土	コンパニオンレスキュー (技研部)	11	火	火曜登山 (自主)
12	日		12	水	水曜登山 (自主)
13	月		13	木	緑の地平線歩き (自主)
14	火	火曜登山 (自主)	14	金	
15	水	水曜登山 (自主)	15	土	
16	木	緑の地平線歩き (自主)	16	日	オルレ奥豊後 (自然・山行部)
17	金		17	月	
18	土		18	火	火曜登山 (自主)
19	日		19	水	水曜登山 (自主)
20	月		20	木	緑の地平線歩き (自主)
21	火	火曜登山 (自主)	21	金	
22	水	水曜登山 (自主)	22	土	<b>専門部会 全体集会</b>
23	木	緑の地平線歩き (自主)	23	日	雪山ハイキング
24	金		24	月	広島 恐羅漢山、深入山
25	土	<b>専門部会 全体集会</b>	25	火	火曜登山 (自主)
26	日	阿蘇根子岳 (東峰) (技研部)	26	水	水曜登山 (自主)
27	月		27	木	緑の地平線歩き (自主)
28	火	火曜登山 (自主)	28	金	帆場岳 (ひまわり部)
29	水	水曜登山 (自主)			
30	木	緑の地平線歩き (自主)			
31	金	郡 岳 (ひまわり部)			

川原顧問所掌➡緑の地平線歩き (9:00)、コンパニオンレスキュー(第1土曜 9:30) 緑地公園集合

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	鎗水 律夫
編集責任者	高田啓子
編集委員	工藤学、福田清人、吉原昌弘、陣川光子、西寿男、福岡正廣
発行年月日	2024/12/27
郵便振込口座	
ホームページ	<a href="http://orangehikingclub.com">http://orangehikingclub.com</a>



オレンジ HP QR